

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：特定疾患対策費

事業名 指定難病指定医研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 難病対策係 電話番号：058-272-1111(内3321)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,273 千円 (前年度予算額： 1,603 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,603	801	0	0	0	0	0	0	802
要求額	1,273	636	0	0	0	0	0	0	637
決定額	1,273	636	0	0	0	0	0	0	637

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

指定難病の医療費助成の支給認定申請に必要な診断書は、都道府県知事が指定した指定医のみ作成することができる。指定医の要件は、疾病の診断又は治療に5年以上従事した経験があり、関係学会の専門医の認定を受けている者、又は都道府県等が実施する研修を修了している者と定められており、指定医の申請に必要な研修会を開催する。

(2) 事業内容

厚生労働大臣が指定する学会の専門医資格を有していない医師を対象に指定難病の指定医として必要な能力を身につけることを目的とした研修会を実施する。なお、研修会の開催に際しては、専門的知識を有する医師会等の協力を得ながら開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	16	研修案内等
役務費	12	郵送料、電話代
委託料	1,245	研修会開催委託料
合計	1,273	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

難病の患者に対する医療等に関する法律（平成26年法律第50号）において法定事業として位置付け。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

指定難病の医療費助成の支給認定申請に必要な診断書作成には、申請者の利便性を考慮し、幅広く指定医を指定する必要があることから、専門医資格を有しない医師を対象とした研修会を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

専門医資格を有していない医師の数を把握することができないため、目標の達成度を定量的な指標で示すことはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 令和2年8月30日 難病指定医・協力難病指定医研修（修了者109名）</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 令和3年10月10日 難病指定医・協力難病指定医研修（修了者74名）</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>医療費助成の申請には、指定医が作成した診断書の添付が必要である。指定医の要件となる関係学会・日本専門医機構の専門医の認定を受けていない医師については、県が実施する研修会を受講することにより指定医の申請が可能となる。患者の利便性を向上させるためには、県内により多くの指定医を確保することが必要となる。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>指定医の要件となる関係学会・日本専門医機構の専門医の認定を受けていない医師が県の実施する研修会を受講することにより、指定医の申請が可能となるとともに、患者の医師選択の幅が広がり、利便性が向上した。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>岐阜県医師会に委託し事業を実施することにより、開催案内の周知、研修の実施等について、効率的、効果的に実施できている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 専門医資格を有していない方のうち指定医の申請を希望している医師について把握できない。また、平成29年度より診断書の記載項目が増加及び複雑化しており、指定医であっても診断書の記載内容に不備等が散見される。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 難病指定医の指定状況を踏まえ、継続的に研修会を開催する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	